豆まき会

令和７年２月３日(月)

節分の由来やいわれに触れながら、豆まき会を行いました。節分を迎えるまでに、各クラスで節分に関する絵本や紙芝居を読んだり、鬼のお面やますを作ったりして準備をしました。節分は、「健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを鬼に見立てて追い出す日です。苦手なこと、直したいことを自分の中にいる鬼だと思って、一生懸命追い払いました。豆まき会では、公民館の職員の方にもお手伝いいただきました。お忙しい中ありがとうございました。

＊記録の視点＊幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿

☑健康な心と体　☑自立心　☑協同性　☑道徳性・規範意識の芽生え
☑社会生活との関わり　☑思考力の芽生え　□自然との関わり・生命尊重
□数量や図形、標識や文字などへ関心・感覚　☑言葉による伝え合い　☑豊かな感性と表現

鬼が嫌いな、柊鰯（ひいらぎいわし）の飾りをひとみ先生が準備してくださいました。においを嗅いで、葉っぱのトゲトゲに触れて観察したあと、各クラスの出入り口に飾りました。

稲田幼稚園を卒園した方が、毎年落花生を寄付してくださっています。今年も豆まき会のあとに食べました。（もも組は、たまごボーロで代用しました。）

鬼が登場すると、怖くて泣いてしまう子、全然平気で笑っている子、勇敢に豆を撒き続ける子など、反応は様々でした。

一人ひとり、自分の中の追い出したい鬼を発表しました。

みんなで追い払った鬼がもう来ないように、テラスにも豆をまきました。この後、テラスによく鳩が来るようになり驚きです。「ぽっぽっぽ～はとぽっぽ～まめがほしいか、そらやるぞ～♪」